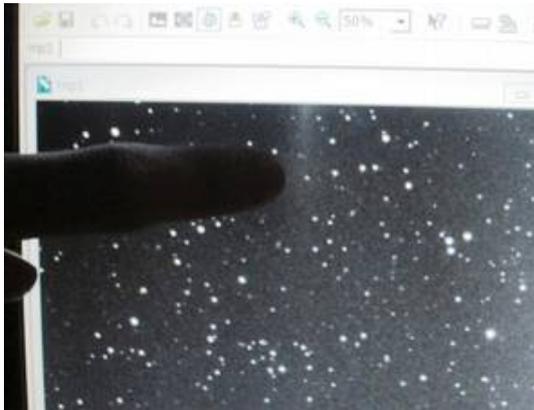


東亜天文学会愛媛支部

11月1日、愛媛支部を設立し、愛媛支部発足式・記念講演会の準備作業を開始しました。他の天文団体と共催で実施いたしました観測会などの様子を紹介いたします。

11月22日(土)、小惑星「愛媛大学」撮影会

四国天文協会愛媛県支部と共催で、久万高原天文観測館で実施しました。撮影は同天文台の藤田康英氏にご指導いただきました。



(左上)冷却 CCD につないだパソコンの液晶画面にモニターされた画像。左から人差し指(影になり黒い)の先にある、白い小さな点が、小惑星「愛媛大学」の姿。



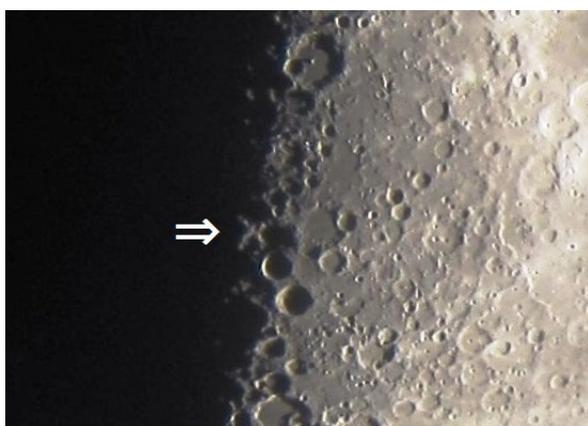
(上) 天文台の反射望遠鏡に冷却 CCD を装着し、撮影しました。



(左下) 愛媛大学天文学研究会の若い3名も交えて、記念撮影。

11月29日(土)「月面X・クレーター」観測会

えひめ星空キャラバン隊、四国天文協会愛媛県支部と共催で、エミフルMASAKIで実施しました。当日は「上弦の月」で欠け際のクレーターが見ごろ。半月の頃の月面に「X」のような文字が浮かび上がることがあり、近年、話題となってきました。名付けて「月面X」。珍しい偶然の自然現象です。ブランキヌス、ラカイユ、プールバツハの3つのクレーターの壁面が、太陽(地平線の下から月を照らしている)の光を浴びて輝きます。地球(真上)から眺めると「X」のように見えるのです。天文愛好家7名が観測指導、500名近い親子の皆さんに、堪能していただきました。



月面Xの様子、中央やや左に、明暗の境に明るいところが浮き出てXの形に見えるところがあります。3つのクレーターの丸い外周の盛り上がった尾根のみに太陽の光が当たって明るく見える。(矢印⇒のさき)



中・四国最大級のショッピングモールのエミフルMASAKI(松前町)に協力いただき、施設のゲート前にて、望遠鏡を数台設置し、それぞれ買い物帰りのご家族、友人の方々に望遠鏡をのぞいていただきました。